

旧松本家住宅

洋館

国指定
重要文化財

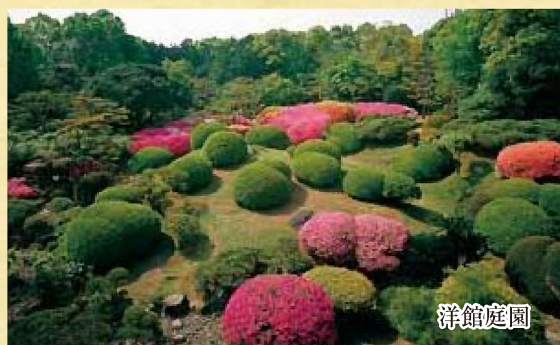
経済産業省認定
近代化産業遺産

旧松本家住宅は、松本健次郎が明治41年から45年にかけて建設した和洋館併設の明治時代の典型的な貴紳住宅で、当時のまま現存する貴重な建築物です。

アール・ヌーヴォー様式の洋館と、数寄屋造り・書院造りの日本館からなり、洋館は、辰野金吾の設計によるものです。

松本健次郎自らの住宅と明治専門学校(現・九州工業大学)の迎賓館として建てられ、建物と、煉瓦造りの蔵二棟が国の重要文化財に指定されています。現在は、北九州の経済人の集まりである西日本工業倶楽部が管理運営し、結婚式や文化事業などに利用されています。

洋館外観



洋館庭園

敷地内の広大な庭園は、春のツツジ、秋の紅葉の時期にはことのほか美しく、毎年、春と秋に開催される特別公開日には、大勢の人で賑わいます。



日本館庭園

日本館



日本館外観



松本健次郎

松本健次郎(1870年〈明治3年〉～1963年〈昭和38年〉)は、父・安川敬一郎の二男として誕生し、のちに敬一郎の兄松本潜の養子になっています。実業家として、父敬一郎と共に安川電気、黒崎窯業(現在の黒崎播磨)等を起し、また、明治専門学校(現・九州工業大学)や明治学園を開学したことで、戸畑が「文教のまち」として発展する礎を築いた人です。

所在地 戸畑区一枝1-4-33

建築年 1912年(明治45年)

連絡先 ☎ 093-871-1031(西日本工業倶楽部)

URL <http://www.nkc.or.jp>

アクセス 市道下道津戸畑線、西鉄バス25.27.28番系統で「明治学園前」下車徒歩5分

※通常は一般公開されておりません。春秋の特別公開日をご利用ください。